

【南浦和教室】2023年2月～2024年3月 受験までの流れ (2023年度中3生)

※公立高校入試日変更を反映 ※一般的な流れを説明した図です。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月
中学校	<p>【定期テスト】 中3の成績は公立高校入試の内申点の5～6割を占めます。(中1、中2は2割)⇒定期テストは重要です。</p> <p>【校長会テスト・さいたま市学力テスト】 中学校で実施する学力テスト(主催:各地区の教育委員会)</p> <p>【漢検】(3級以上を取りましょう。) 会場テスト:年3回 CBTテスト:ほぼ毎日受験可</p> <p>【英検】(3級以上を取りましょう。) 会場テスト:年3回 ※申込は2カ月前です。 S-CBTテスト:会場テストと同じ級を2回まで合計3回受験可能。</p>	<p>2月末～ ★2学年年末テスト</p> <p>・漢検2/12 ・英検 1次1/22 2次2/19・26</p>	<p>★1学期の定期テストは重要です。この結果で、ほぼ受験する私立高校が決まります。もちろん公立高校の内申書にも大きく影響します。</p>	<p>★中間テスト</p>	<p>★中間テスト</p>	<p>★期末テスト</p> <p>・漢検6/18 ・英検 申込み3/31～5/2 1次6/4 2次7/2・9</p>	<p>★期末テスト</p> <p>★7月 通知書</p>	<p>☆校長会テスト(8月下旬)</p> <p>2学期の定期テスト結果で、志望校のレベルアップが可能です。</p>	<p>☆校長会テスト(10月下旬)</p> <p>★中間テスト</p> <p>・数検準会場 申込:6月下旬 ※周辺で数検の準会場は南浦和教室のみです。</p>	<p>★期末テスト</p> <p>・漢検10/22 ・英検 申込み8/1～9/8 1次10/8 2次11/5・12</p>	<p>★期末テスト</p> <p>★11月 通知書</p>	<p>☆校長会テスト(1月初旬)</p> <p>推薦書</p> <p>「推薦」での出願許可が貰えたら中学校で推薦書を発行して貰います。</p> <p>・漢検2/11 ・英検 申込み11/1～12/14 1次1/21 2次2/18・25</p>		
私立高校(併願) または (単願)	<p>【学校見学】 必ず学校見学をして校風、通学時間等を把握し、志望校を決めましょう。</p> <p>【個別相談会】【確約】 生徒と保護者で高校の個別相談会に行くこと推薦合格の約束(確約)が取れます。(併願と単願いずれも可能です。) ※確約の合格基準は3年1学期or2学期通知表、北辰テスト結果 漢検・英検・数検、皆勤、部活動等も加点する学校が多いです。合格基準は当教室でわかります。</p>					<p>実際に学校見学に行き自分合っているか?などを確認しよう。</p>	<p>学校見学・オープンスクール</p>	<p>説明会・個別相談1</p>	<p>説明会・個別相談2</p>	<p>11月までに「併願推薦」が貰えなかった場合は、2学期の通知書と北辰テスト結果を持参し個別相談へ行きます。(この時期に慌てないように!)</p>	<p>★推薦入試</p> <p>推薦で出願するとほぼ合格です。推薦が貰えなかった場合でも一般で受験することもできます。</p>	<p>公立高受験迄の期間で腕試し。国立・私立高校・大学付属校にチャレンジできます。</p>	<p>★一般入試</p>	
北辰テスト	<p>【申込み】 当教室で受付致します。 7月～12月は必ず受験しましょう。 4月は現在の学力把握の為、受験をお勧めします。</p> <p>【過去問】 昨年の過去問をコベッツで販売致します。 ※毎年、同様な問題が出題されます。</p>	<p>3/5 ★中1、2年生</p> <p>自分の学力を確認しましょう。</p>	<p>4/30 ★</p> <p>自分の学力を確認しましょう。</p>	<p>6/18 ★</p> <p>部活の大会と重なる場合が多いです。</p>	<p>7/16 ★</p> <p>北辰テストは、強制ではありませんが、学力確認や私立の確約(推薦約束)を貰う貴重な成績ですので、7月以降は可能であれば全て受験することをお勧めします。私立確約は7月以降の2回、上位高校は9月以降の2回が対象です。4月からを対象とする高校も一部あります。</p>	<p>9/3 ★(中2も実施)★</p>	<p>10/1 ★</p>	<p>11/5 ★</p>	<p>(学校選択問題あり) 12/3 ★</p>	<p>(学校選択問題あり) 1/28 ★</p>	<p>12月～2月の3カ月間は最も大切な時期。気合を入れる為に受験を推奨します。</p>			<p>3/3 1・2年生対象の北辰テスト</p>
公立高校	<p>【選抜基準】 入試5教科500点+内申点250～500点 ※高校別に内申の点数と、中1～中3の成績割合、部活・検定等の加点は異なります。 ・上位22校は英語と数学が別問題です。 ・理科は数・理の配点が2倍で700点満点。 ・外国語科は英語の配点が2倍で800点満点。 ・科が複数ある学校は、第一志望、第二志望を選択できます。(伊奈学園は第一志望のみです)</p>		<p>公立高校の入試対策は、学校の定期テスト対策と考えて下さい。</p>		<p>学校見学・オープンスクール</p>	<p>実際に学校見学に行き自分に合っているか?などを確認しましょう。確実校・学力相当校・挑戦校の最低3校を探してください。駅から遠い学校が多いです。実際に行って確認しましょう。</p>			<p>12月または1月の北辰テスト結果で最終的に出願する高校を決めます。絶対公立の場合は「確実校」、どちらでもよい場合は「学力相当校」または「挑戦校」へ出願します。</p>	<p>出願</p> <p>2/7、8、9 (2/7は郵送のみ) ※出願先変更2/14、15</p>	<p>★2/22</p> <p>2/ 面接・実技 (一部高校のみ) 3/1 合格発表 3/4 追検査 (病欠生のみ) 3/6 追検査合格発表 (追検査は定員とは別枠)</p>			
城南コベッツ	<p>【定期テスト対策】 中1と中2は定期テスト対策に重点をおいています。学校ワーク演習、テスト前勉強会を中心に、テスト対策のスケジュールを組んでいます。</p> <p>【公立入試対策】 ・中3は理科・社会演習を実施。 ・埼玉県入試対策問題集、予想問題集を中心に仕上げを行います。 ・学習状況に応じた入試対策演習を実施しています。</p>	<p>定期テスト対策</p> <p>春期講習</p> <p>2年生までの苦手単元を克服しておきましょう。</p> <p>★2月中旬 2者面談 (学年末テスト対策・春期学習について)</p>	<p>1学期は定期テスト対策が最大の入試対策です。</p>	<p>夏は大きく飛躍するチャンスです。理科・社会演習受講をお勧めします。</p> <p>★6月初旬 3者面談 (学期末テスト対策・夏期学習について)</p>	<p>短期間で成績向上が容易な理科・社会演習を受講することをお勧めします。また、北辰テスト対策や入試対策も必要になります。夏から受験迄が勝負です!</p> <p>★9月下旬 3者面談 (私立校選定・中間テスト対策について)</p>	<p>冬期講習+通常授業</p> <p>入試対策の総仕上げ 受験校の過去問題</p> <p>県トレ(埼玉県公立高校対策問題) 全国公立高校入試過去問題 私立高校過去問題</p> <p>★11月初旬 3者面談 (私立確約校、志望校選定、学期末テスト対策、冬期学習について)</p>	<p>高校準備学習</p> <p>難度・学習量が急激にアップ!高校の授業に向けて高校の授業先取り学習をします。高1の1学期中間テストはとて大切!高校生活を左右します。</p> <p>★随時個別面談を実施致します。</p>							

※こちらは公立高校や私立中位校向けの流れです。私立上位校一般入試の場合(偏差値60以上)は公立中学の3年終わりまでの学習内容は夏休み迄に終わらせ、夏期講習途中からは上位校向けカリキュラムを進めます。

※公立高校入試合格基準及び、私立高校の確約制度を理解して、中学生生活を過ごしましょう!

- ・中2までに成績UPし、中3の1学期を迎えることが重要です。(公立高校内申と、私立確約で有利です。)
- ・中3生は、中間テストと期末テスト4回に全力投入しよう! 定期テスト後は総復習(入試対策と北辰テスト対策)です。切替えが重要!

※高校選択基準は?・・・どのような高校生活をするか考え、目的に合った高校を選択しましょう。

- 例1 大学受験勉強一筋 注:高校は義務教育ではないため、勉強しないと進級できません。私立上位高では、落第・転校する生徒が何人もいます。
- 例2 大学受験勉強と部活ともに本気で取組みたい(文武両道) 注:文武両道で有名大学に現役合格するには覚悟が必要です。GMARCH以上の大学合格者の4割は浪人生です。
- 例3 商業・工業高校へ行き卒業後は専門学校で学びたい。 注:浦和商業は合格者平均偏差値48、上尾の商業は53です。商業・工業高校等は学校の面倒見がよく資格も取れるので人気校が多数あります。
- 例4 公立高校の普通科に行き、バイト生活。(目的無し) 注:退学者の多い公立高校も複数校あります。目標を設定して高校生活を送りましょう。

★2024年度大学入試から、入試制度が大幅に変わります。指導要領も大きく変わります。